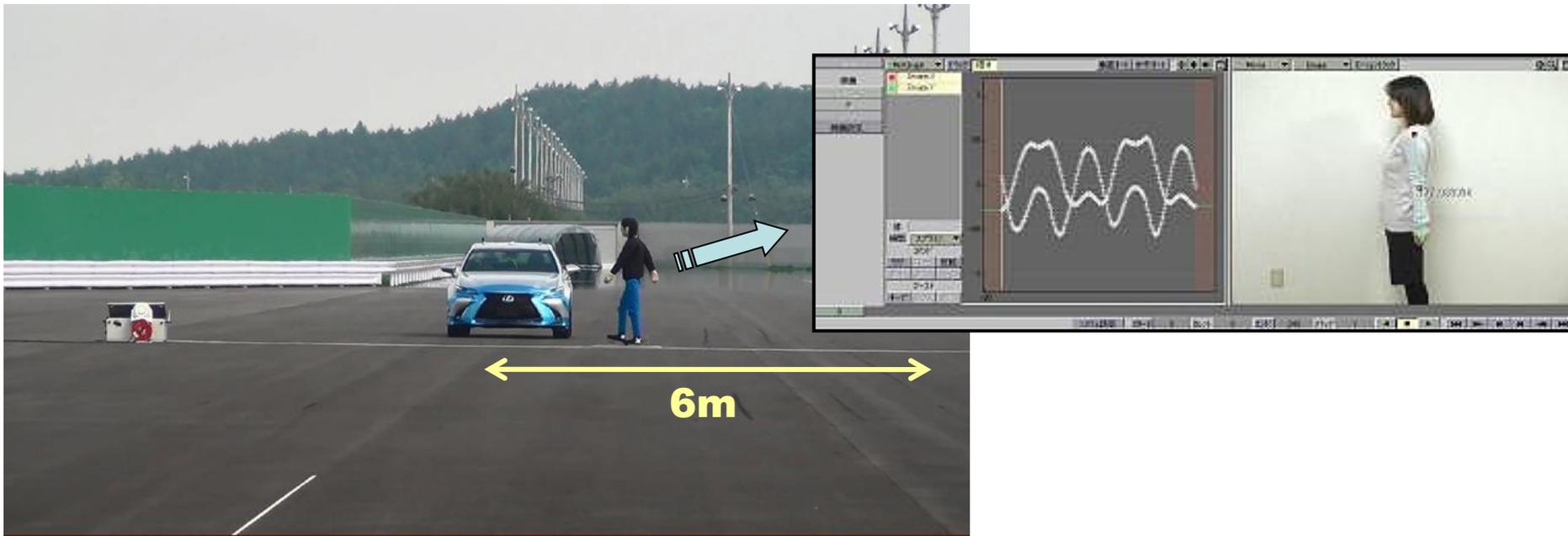


対歩行者AEBS試験実施に向けた課題検討

ダミー挙動に関する判定基準設定

- ・課題：歩行者ターゲットの頭部および脚部（可動式の場合）の挙動を監視し、試験の成立判定に盛り込む。
- ・対策：試験路終端（土手）付近に設置したビデオカメラの映像を計測室に転送し、ターゲットの動きをキャプチャ保存する。モーショントラッキングソフトにより、対象箇所的位置・速度を分析し、必要に応じて試験の成立判定に用いる。

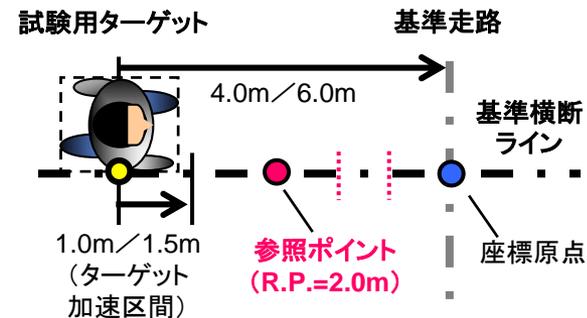


○ダミーの異常判定ポイント

- ・風等の影響でダミーが大きく前傾／後傾した場合、頭部の移動速度が大きく変化する。(通常なら5(8)kph)
- ・脚部の挙動に異常があった場合、通常観測される足の位置から大きくずれる。

○測定項目

参照ポイント(基準走路から2m手前)～原点到達までの間の「ターゲット頭部の速度」、および当該区間を三等分した4箇所の地点における「右足位置」と「左足位置」を測定する。(画像は60fr/sで記録。位置測定は脚部可動式ダミー使用時のみ)



○試験成立の判定基準

大人ダミー
5kph

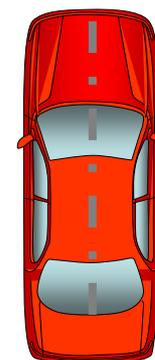
測定地点	R.P.(2m)	1.33m	0.67m	原点
頭部速度	5.0±○ km/h			
右足位置 [m]	○±○			
左足位置 [m]				

子供ダミー
5kph

測定地点	R.P.(2m)	1.33m	0.67m	原点
頭部速度	5.0±○ km/h			
右足位置 [m]	○±○			
左足位置 [m]				

大人ダミー
8kph

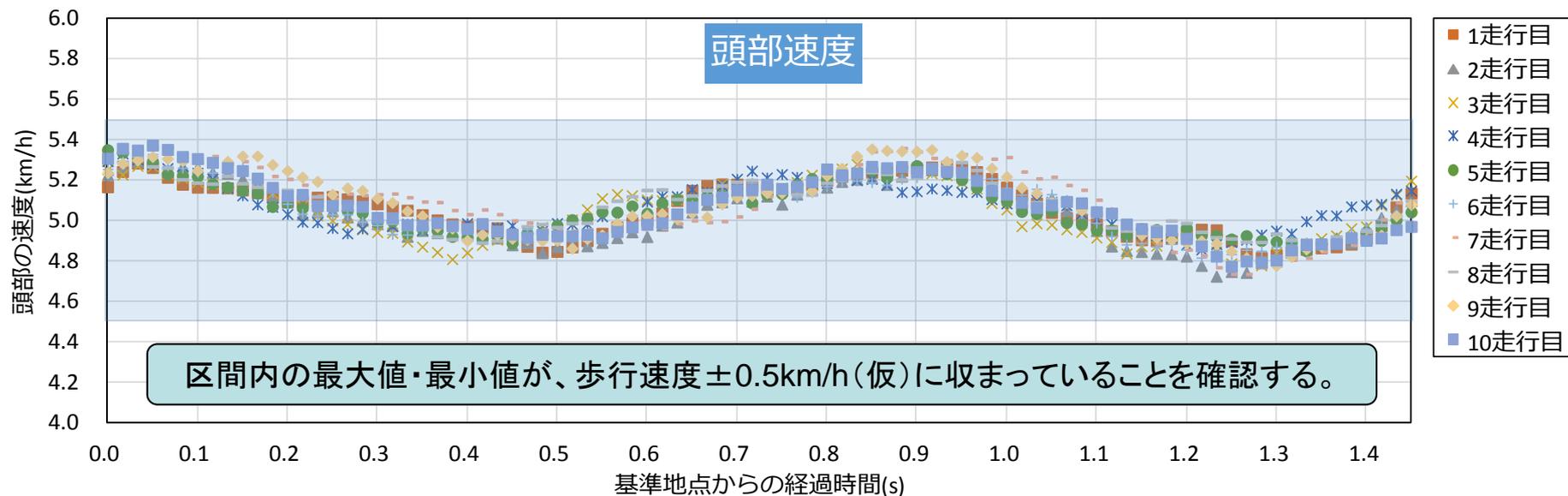
測定地点	R.P.(2m)	1.33m	0.67m	原点
頭部速度	8.0±○ km/h			
右足位置 [m]	○±○			
左足位置 [m]				

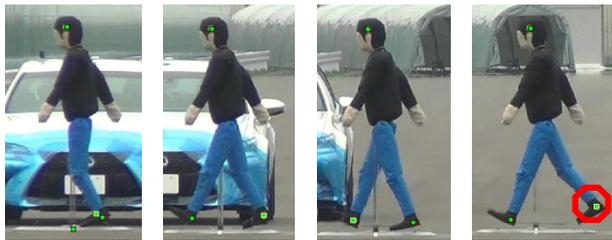
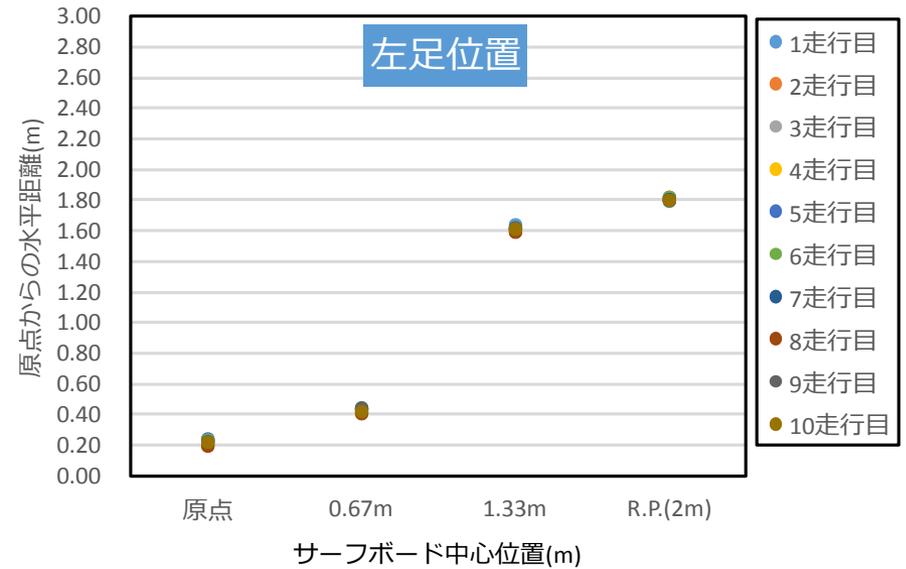
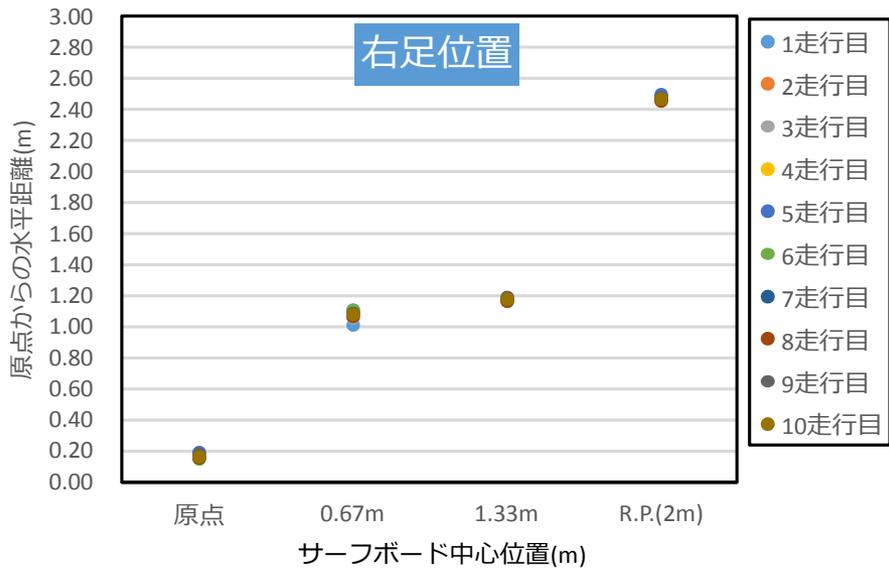


(*) ラップ率25%条件時にダミーが原点まで到達しなかった(衝突した)場合は、原点での足位置判定は除外し、頭部速度の測定は衝突直前までとする。

○測定結果の一例

大人ダミー 5kph





各時点における足位置が、標準位置±0.1m(仮)の範囲に入っていることを確認する。

上記データは、挙動のばらつき程度を確認するための、旧ダミーを用いたときの計測結果。
本試験用ダミーが納入され次第、改めて下記組み合わせで動作検証し、判定基準(スライド2の表)を試験法に盛り込む予定。

- ・脚部方式 : 固定式 / 可動式
- ・ダミー種別 : 大人 / 子供
- ・歩行速度 : 5kph / 8kph